

進める 変える 実行力。



元農林水産大臣政務官・参議院議員

たかはし

高橋

みつお

公明党学生局長、同兵庫県本部副代表。外交官として、在ブラジル日本大使館二等書記官等歴任。ポルトガル語通訳官として首脳外交の一翼を担う。参議院議員1期。大阪外国語大学(現大阪大学)英語科在学中に外交官試験に合格し中退。中央大学法学部卒。1977年 兵庫県宝塚市生まれ。

Takahashi's ACTION!

1

能登地震被災地の復旧・復興へ奔走



「困っている人の力になりたい」と1期5年半、現場を走り抜いてきました。昨年発生した能登半島地震では、農林水産大臣政務官(当時)として被災地に7回訪問。現地の切実な声を伺い、政府内に届け、農水分野での災害復旧に尽力してきました。

震災で甚大な被害を受け、機能不全まで陥った輪島港では国と県による仮復旧がカニ漁解禁までに完了し、関係者から喜びの声をいただきました。



石川県輪島市では「小さな林業」を核とした里山保全の取り組みを農水省初の復興事業に認定。

Takahashi's ACTION!

2

農水業の施策強化へ現場調査を開始!



党を挙げて全国各地の現場が直面する課題を調査し、持続可能な第一次産業の確立に向けて政策立案に生かす「農林水産業キャラバン」を1月13日、兵庫県から開始しました。齊藤鉄夫代表らとともに、新規就農や農家の処遇改善、農福連携などについて地元農家の方から貴重なお話を伺いました。農業を魅力ある産業にしていきたいため、これからも現場で学び、政策提言につなげていきます。



学び、進化し続ける／

高橋みつお

はこんな人！

- 身長186cm、靴のサイズ29cm。血液型はA型。
- 訪れた国は五大州30カ国以上。移動距離は地球10周分を超える。
- 趣味は朝のジョギング。しんどい時こそ汗をかくことがモットー。
- 妻と長女、長男の4人暮らし。神戸市在住。

- 1 紛争直後の国々で外交官として活躍。「平和なくして発展なし」「日本の安全と国民の平和な暮らしを守り抜く」を信念に行動する人。
- 2 外交官時代、日本企業のアフリカ進出や風評被害にあった、福島県産の食品のブラジルへの輸出解禁に尽力。外交経験を活かし、注目されるグローバルサウス（アジア、アフリカ、中南米）への経済外交を積極的に展開する人。
- 3 子育てに奮闘する二児の父親でありながら、大学での学び直しに挑戦した経験も。現役世代のスキルアップ、若者・女性活躍を全力で推進する人。



“3つの約束”

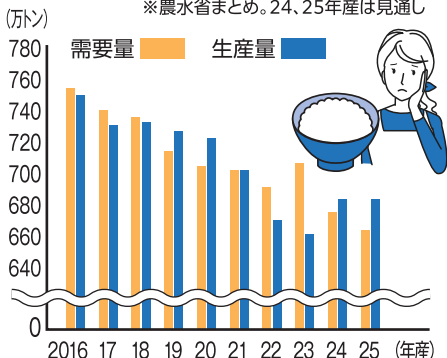
高橋みつお

1 食と暮らしを守る

命の源である「食」の安全保障を進めるため、食料の安定供給、適正な価格形成を促進し、コメ不足を再発させない仕組みを構築します。また、災害から国民の「暮らし」を守る防災・減災の取り組みも加速させます。

主食用米の需要量と生産量の推移

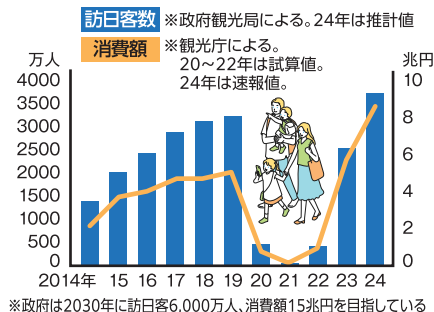
※農水省まとめ。24、25年産は見通し



2 経済を進める

元外交官の経験と人脈を生かし、世界に誇る**兵庫産品のブランド**を海外へと売り込み、インバウンド（訪日客）倍増を目指します。さらに交通網（県内未整備高速道路網）の整備促進、神戸空港の国際化とともに港湾拠点の国際競争力向上など、兵庫経済の活性化につなげます。

訪日客数と消費額の推移



3 未来を変える

兵庫県では20代の転出超過が深刻化しており、人口減少が課題です。**若者に選ばれる兵庫県**をめざし、企業誘致や起業支援、地方就職を後押しします。また、誰もが働きやすい社会に向けて、リスキリング（学び直し）支援、育休明けでも仕事が継続できる施策の充実を訴えてまいります。

関西の転出超過

府県名	転入・転出超過人数	
	2023年	2022年
大阪府	10,792人	6,539人
京都府	▲2,635人	▲2,034人
兵庫県	▲7,397人	▲5,625人
滋賀県	12人	1,555人
奈良県	▲1,319人	▲1,227人
和歌山県	▲2,123人	▲2,020人

※注 ▲はマイナス、転出超過（出所）住民基本台帳人口移動報告



高橋みつお後援会 入会申し込みはこちらから

〒650-0015

兵庫県神戸市中央区多間通3-3-16甲南第1ビル 1102号室

TEL:078-367-6755 FAX:078-367-6756



<https://takahashi-mitsuo.com>

高橋みつお

検索

高橋みつお後援会 規約(抜粋)

第1条(名称・所在地) 本会は、高橋みつお後援会と称し、主たる事務所を兵庫県神戸市中央区多間通3-3-16-1102におく。

第2条(目的) 本会は、高橋みつお氏の政治活動を後援することを本来の目的とし、あわせて会員相互の親睦を深めることを目的とする。